



社会科における言語活動の充実について（小学校）

- (1) 幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)
〈平成20年 中央教育審議会〉

- 「生きる力」をはぐくむための重要事項
 - ・ 将来の職業や生活を見通して，社会において自立的に生きるために必要とされる力の育成
 - ・ 思考力・判断力・表現力等をはぐくむために基礎的・基本的な知識・技能を習得させ，観察・実験，レポートの作成，論述といった知識・技能を活用する学習活動を行う
 - ・ 言語活動の重視や体験活動の充実

↓
〈言語活動を示している〉

※ 思考力・判断力・表現力等をはぐくむためには言語活動を重視する。
- 不可欠な学習活動
 - ① 体験から感じ取ったことを表現する
 - ② 事実を正確に理解し伝達する
 - ③ 概念・法則・意図などを解釈し，説明したり活用したりする
 - ④ 情報を分析・評価し，論述する
 - ⑤ 課題について，構想を立て実践し，評価・改善する
 - ⑥ 互いの考えを伝え合い，自らの考えや集団の考えを発展させる

- (2) 新小学校学習指導要領 第1章総則「第4 指導計画の作成に当たって配慮すべき事項」

各教科等の指導に当たっては，児童の思考力，判断力，表現力等をはぐくむ観点から，基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに，言語に関する関心や理解を深め，言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え，児童の言語活動を充実すること。

- (3) 新小学校学習指導要領解説 社会編 第1章総説 2 社会科改訂の趣旨 (i)改善の基本方針

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識，概念や技能を確実に習得し，それらを活用する力や課題を探究する力を身に付けていくために，各学校段階の特質に応じて，習得すべき知識，概念や技能を明確にするとともに，各種の資料を効果的に活用し，社会的事象の意味などを解釈したり事象の特色や事象間の関連を説明したりするなどの言語活動を重視している。

- (4) 新小学校学習指導要領解説 社会編 第1章総説 2 社会科改訂の趣旨 (ii)改善の具体的事項

問題解決的な学習などを一層充実させることや，観察・調査や資料活用を通して必要な情報を入手し，的確に記録する学習，それらを比較・関連付け，総合しながら再構成する学習，考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習など言語活動の充実を図ることを求めている。

(5) 新小学校学習指導要領解説 社会編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項

言語活動の充実を図る観点から、各学年の目標の(3)において、これまでの「調べたこと」に「考えたこと」を加え、「考えたことを表現する力」を育てることを一層重視している

(6) 新小学校学習指導要領解説 社会編 2 学年の目標 (2)各学年の目標の系統 ③能力に関する目標

○ 第3学年及び第4学年

- ・地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

○ 第5学年

- ・社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味について考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

○ 第6学年

- ・社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味をより広い視野から考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。